

感染性胃腸炎の予防対策

●感染性胃腸炎はどんな病気？

- ✓ 一年を通して発生しますが、冬は特に患者が増加します。
- ✓ 主にノロウイルスの感染により発症します。
- ✓ 手指や食品を介して経口感染します。
- ✓ 主な症状は、おう吐、下痢、腹痛です。
- ✓ 子どもやお年寄りは重症化したり、おう吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがありますので注意が必要です。

●治療方法は？

- ✓ 抗ウイルス剤はありませんので、対症療法となります
- ✓ 水分と栄養の補給を充分に行いましょう。
- ✓ 脱水症状がひどい場合には早めに病院を受診しましょう。

●予防方法は？

- ✓ 特に、調理の前、食事の前、トイレの後には、しっかりと手を洗いましょう
- ✓ 患者のおう吐物や便には大量のウイルスが含まれておりますので、2次感染を防ぐため、おう吐物、おむつなどの取り扱いには十分注意して下さい。
- ✓ 調理の際は、中心部が85°C～90°C、90秒以上となるようにしっかりと火を通しましょう。

●おう吐物の処理方法は？

- ✓ おう吐物はビニール手袋、マスクを着用して処理しましょう。
- ✓ 消毒にはアルコールでは不十分なので、市販の次亜塩素酸ナトリウムを適切な濃度で使用して下さい。
- ✓ 処理後はしっかりと手を洗いましょう。